



Polaris news

【北高新聞 NO.202402】

「JICA 中部訪問」 国際協力とは何かを学びに行きました (2024.05.28)

国際理解コース1年生がJICA 中部を訪問しました。まず初めに、国際協力とは何か、なぜ国際協力をするのか、またJICAの仕事の内容について話を聞きました。その後、2グループに分かれて施設を見学しました。JICA 中部のエコな取り組みの建物を見せてもらったり、Table for Twoの自動販売機などを紹介してもらい、身近なところで国際協力ができることを知りました。ウガンダ給食を頂いたあとは、実際に海外協力隊としてヨルダンに派遣された方のお話を聞きました。大雨の中の研修でしたが、大変実りのある研修でした。



■生徒の感想より

- どの国の問題も他人事ではなく、助け合いながら生きていくことの大切さにも気づくことができたので、今後の生活にも活かしていきたいと思います。
- 今回の体験談を聞いたことで、「自分が知らないこと」に対して自分の偏見でジャッジするということは恥ずべき事なのだと分かりました。
- 発展途上国の問題は世界の問題ととらえて世界中で協力することが国際協力だということがわかった。
- 海外派遣に行ったスタッフの方々に話を伺って、すごく刺激的でより国際交流について理解が深まりました。
- 発展途上国では、私たちが普段当たり前にできていることができていないと知り、私もどうにかしたいと思いました。
- 私もボランティアなどに参加してみたいと改めて思うことができました。
- 自分の持っていた固定概念や新しい変化や挑戦を過度に恐れる部分のもったいなさを痛感しました。
- ニュースや新聞で見る世界で起きていることは決して他人事ではないと考え、私にも何かできることがあれば協力したいです。